

学校給食に関するアンケート調査の結果について

1 実施主体

阿賀野市農業振興協議会地産地消生活部会

2 取組内容

試験的に減農薬米（化学農薬 5 割低減、化学肥料 8 割低減）を学校給食に提供し、有機米サンプルを配布することで、それらの価値を伝え、有機米の導入に向けたニーズを調査します。

3 アンケート実施目的

有機米を学校給食で供給することに対する金銭的負担の考えを把握します。

4 アンケート対象者

安野小学校の児童・生徒の保護者

5 アンケート実施時期

令和 5 年 11～12 月

6 アンケート内容

【設問】

今回、安野小学校の学校給食では、化学農薬 5 割低減、化学肥料 8 割低減のお米を試験的に使用しました。一方で、農薬と化学肥料を一切使わない「有機米」の生産が盛んな笹神地区の小学校では、有機米を試験的に使用しました。そこで、保護者のみなさまにお聞きします。有機米を使用するには、仕入費用が高くなります。仮に、増加した費用を市、JA・農業者、保護者で 3 分の 1 ずつ負担したとすると、保護者の負担は、児童 1 人あたり、1 か月で 100 円ほど増加となります。次のいずれかでお答えください。

受け入れられる金銭的な負担増加のため、子供に有機米を食べさせたい。

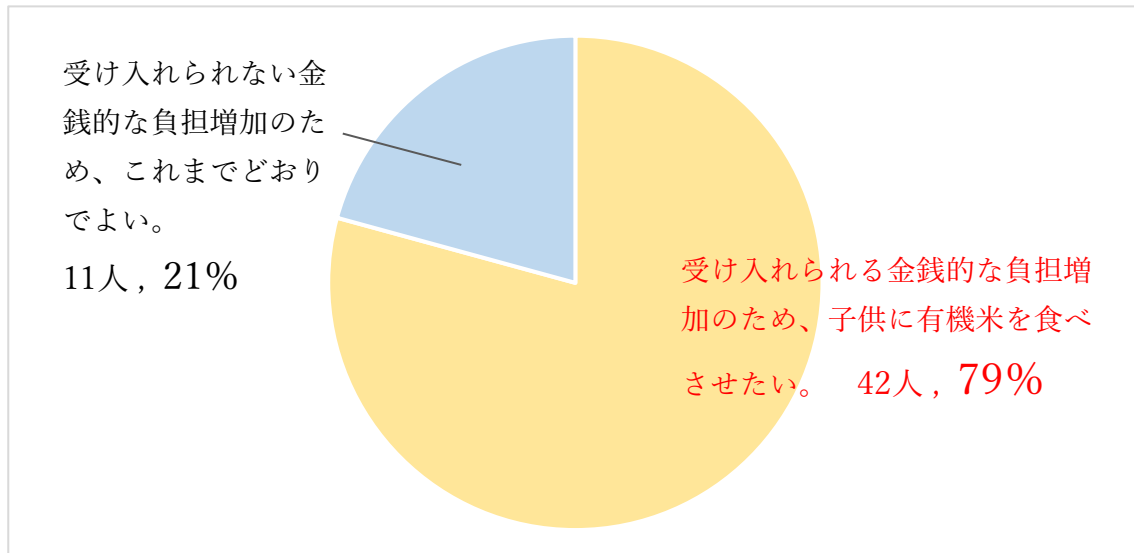
受け入れられない金銭的な負担増加のため、これまでどおりでよい。

7 アンケート実施、とりまとめ方法

市ホームページアンケート機能により自動集計

8 アンケート結果

設問 有機米を使用するには、仕入費用が高くなります。仮に、増加した費用を市、JA・農業者、保護者で3分の1ずつ負担したとすると、保護者の負担は、生徒1人あたり、1か月で100円ほど増加となります。次のいずれかでお答えください。



回答率は低いものの、子供に有機米を食べさせるために、一定の金銭的負担を受け入れられる保護者が多い。